

# 国保税子どもの均等割り、第3子以降無料化ついに実現

1人当たり16,500円の軽減に！ さらに、高すぎる国保税の引き下げが必要

## 12月定例議会報告

12月定例議会が12月4日から6日の日程で開催されました。議会では一般質問、条例新設・改正、補正予算、請願などが審議されました。一般質問では8名が質問しました。日本共産党の出浦正夫議員は町民の皆さんの声、寄せられた要望などをもとに質問、要点を報告します。

### 国民健康保険税、子どもの均等割り

#### 第3子以降負担減免、無料化を実現

昨年4月から国民健康保険の運営が広域化され県と町で運営することになりました。

小鹿野町では国保税の値上げが行われ、町民の皆さんの間には国保税は高すぎてたいへん、との声が渦巻いています。

小鹿野町では、国保税の課税は世帯割り、所得割り、資産割り、均等割りの4方式で賦課しています。

中でも均等割りは赤ちゃんから大人まで同額の1人当たり16500円の負担となっています。これでは子どもさんの多い世帯ほど負担が高額となります。出浦議員は、これまでも子どもさんの均等割りの減免を子育て支援策としても重要として求めてきました。

その結果、12月議会で、町独自で19歳未満の子どもが3人以上いる世帯の第3子以降の子ども均等割りを減免する条例改正が実現しました。来年度から実施されます。

この改正により、国保世帯の子どもさん33人が減免の対象となります。必要経費は54万4500円とのことです。

また、出浦議員が「国保世帯のすべての子どもの均等割りを減免したら経費はいくらかかるか」と質問、対象者は270人、経費は445万5000円との回答がありました。

出浦議員は、すべての子ども均等割りを直ちに減免することは無理にしても、今後減免についてさらに検討していく必要があると強く求めました。町長は近隣自治体の動向も見ながら検討したいと答えました。

### 国保税軽減のため、国庫負担金増額を

#### あらゆる機会を利用し国に求めよ！

国民健康保険税の負担が重くなっている原因の一つに政府が国庫負担金を次々に減額してきたことが挙げられます。

出浦議員は町長に対してあらゆる機会を通じ、国に対して国庫負担金増額を求める必要があると質問しました。

町長は町村長会や県とも協力して国への働きかけを強めていきたいと答弁しました。安倍内閣は次々に医療、年金などの社会保障を削減していますが、地方から声を上げない限り住民の生活は益々たいへんになります。

### 高すぎる国民健康保険税

#### 「協会けんぽ」なみに引き下げを

自治体が運営している国民健康保険は、他の健康保険に加入していない人を対象にしている保険で国民皆保険を支える重要な柱になっています。

ところが、国保税の負担は重く、「協会けんぽ」(中小企業の労働者が加入)の約1.4倍になっているといわれます。

国民健康保険の高負担を改めさせるために、2014年には全国知事会が国に対して1兆円の国庫負担金増額を求めています。

出浦議員は、国庫負担金の増額、自治体の繰り入れ等で国保税の負担を「協会けんぽ」並みに引き下げるべきだと発言しました。

おがの民報

NO 34

日本共産党小鹿野町委員会

12月定例議会報告

2019年1月27日(日)

TEL (79) 0036



## 異常な暑さから町民を守る対策を！

小・中学校の特別教室にエアコン設置を

出浦議員は、近年の異常な暑さの中、小・中学校の特別教室にエアコンの設置をするように求め質問しました。

小鹿野町では、普通教室にはすべてエアコンが設置されています。しかし、特別教室には図書室、コンピュータ室を除き未設置の状況です。

### 計画的に整備を進める

教育長は、財政の担当課とも協議・調整し財源確保に努め利用頻度の高い特別教室から計画的に整備を進める考えを示しました。

### 避難所、武道場にもエアコン設置を

昨年7月の台風時、自主避難所で暑さの大変だった箇所へのエアコン設置を求めました。

両神庁舎2階和室については予算をとって修理する、町民武道場については2000万円強の予算でエアコンを設置する方向で検討中との答弁がありました。

### 地域集会所も補助対象に

緊急避難所の中には地域集会所もあるので、来年度から空調設備設置に係る費用を補助対象とするよう要綱を見直し、地域集会所への設置を促していきたい旨答弁がありました。



## 広域水道の問題点は様々、大型工事で料金値上げか？

小鹿野浄水場存続の町民の声、議会の決議を広域水道に届けよ！

小鹿野浄水場存続について町長はどのように働きかけているか質問しました。

町長は、11月2日開催の秩父広域、第3回理事会で「計画等の見直しの際には検討していただきたい。」と提案。特に、長尾根配水池建設と小鹿野浄水場存続の場合のコスト比較をすること、危機管理の視点からも検討することを求めたと答弁しました。

出浦議員は、町長に引き続き広域に要求し続けるよう求めました。

### 料金統一に向け審議会始まる 水道料金大幅値上げか？

1月から広域の水道事業経営審議会が始まります。この審議会が料金値上げのための審議会になることが予想されます。

出浦議員は、水道局の中長期経営戦略では1m当たりの料金を222円〜241円の範囲で値上げの必要があるとしていることを取り上げ、小鹿野町民にとっては1.5倍の値上げになることが心配されるとして対策を質問しました。

### 町長、町独自でも

激変緩和措置をとる必要

町長は、広域理事として料金大幅アップにならないよう議論するとして、たうえで、大幅アップになった場合には小鹿野町独自でも激変緩和措置を考える必要があるとしました。

出浦議員は、秩父広域の中で小鹿野町の値上がり分が一番大きいので対策が必要と強調しました。

### 来年度分、広域水道への小鹿野町負担金額は？

本年度は、広域水道へ町から2億4665万円の負担をしています。出浦議員は、来年度分負担額を質問。担当の住民課長は、すでに概要説明はあったが、公開しないように言われているので明らかにできないと答弁。

広域になれば住民の声は届きにくくなるというわけでしたが、現実になりました。秘密主義は止めるべきです。

その他、クボタへの工事一括発注、デザインビルド方式の問題点を質問しました。



### 長若の埋め立て残

### 土崩落の被害者補償について質問

被害を受けて1年以上経過するのに被害の補償は進んでいません。出浦議員は、町として対策を強めるよう求めました。町長は、町にも顧問弁護士がいるので相談するとしていますが一刻も早い補償実現が求められます。

### 水道の民営化を推し進める水道法の

### 改正に反対する意見書、全会一致で可決、関係機関に送付

国会で審議されていた水道の民営化法案に反対する意見書が出浦議員、斎藤議員の発議で提案されました。全会一致で可決され、関係機関に送付されました。